

# 行政改革大綱実施計画の進捗状況報告について （第4次熊野町行政改革大綱実施計画の取組状況【平成24年度分】）

平成26年2月3日 熊野町行政改革推進本部

## 1 実施状況

本町では、「第4次熊野町行政改革大綱」及び「同実施計画」の計画期間を平成23年度から平成27年度としています。

また、改革の着実な実施を図るため、行政改革推進本部において適切な進行管理を行うとともに、その実施状況を公表することとしています。

このため、実施計画に掲げた76項目について、実施状況を報告します。

### 【平成24年度の実施状況】

改革の柱	平成23年度	平成24年度
住民との信頼関係を強化する	6	8
住民との協働のまちづくりを進める	1	1
自主性・自立性の高い財政運営を行う	15	18
社会の変化に対応できる行政運営を行う	10	11
合計	32	38

## 2 主な実施状況（概要）

改革の柱	項目	平成23年度実施状況	平成24年度実施状況
住民との信頼関係を強化する	情報発信の充実	携帯会社の緊急エリアメールへ対応をしました。	わかりやすい予算書を作成し、ホームページに掲載し公表しました。
	個人情報の保護	情報公開及び個人情報保護条例の住民啓発を実施し、保存文書の年限・種別を厳守しています。（継続）	
	広聴の充実	地域懇談会を14箇所で開催しました。	意見箱への投稿に対するルールを設けました。
	住民の視点に立った接遇やサービス向上	窓口サービスの職員に対する意識調査を実施しました。	健康課を本庁に移転しました。 窓口アンケートを実施しました。
住民との協働のまちづくりを進める	地域協働事業の支援	9団体に助成	11団体に助成

自主性・自立性の高い財政運営を行う	収納対策の強化（滞納等の納付）	効果額 5,770千円	効果額 15,168千円
	課税客体の拡充・未利用地等の売却	深原地区町有地の造成は、広島県と受委託契約を締結しました。	
		普通財産の売却 102.00㎡/1筆 2,064千円	363.74㎡/3筆 12,717千円
		広告料収入 1,101千円	1,284千円
	補助金等の整理・合理化	内容を調査して、1,173千円を削減	内容を調査して、676千円を削減
	道路整備の基本方針の策定	第5次総合計画に合わせた都市計画マスタープランの内容修正を実施しました。	
	庁舎等の節電による電気料の削減	使用量 5.6% 料金は3.0%の増	使用量 9.5% 料金は3.0%の増
総合計画と連動した予算編成	実施計画作成（3年間のローリング方式により毎年度見直し）		
社会の変化に対応できる行政運営を行う	効果的・効率的な組織の構築	職員総数 158人	職員総数 159人
	全庁的な事務処理効率化の推進	22件の職員提案	10件の職員提案 （事務改善4件 その他6件）
	公会計制度の導入	財務書類の作成をし、公表しました。（平成22年度決算分財務4表作成・公表）	
	電子自治体の推進	申請件数41件 7手続8様式追加	申請件数33件 6手続11様式追加 自治体クラウドの検討
	職員数の適正化の推進（再掲）	第3次定員適正化計画に基づき平成23年度末155人	第3次定員適正化計画に基づき平成24年度末159人

### 3 今後の取組みについて

厳しい行財政環境の下、今後も社会保障費や老朽化した公共施設の改修、防災関連経費の増が見込まれるなど、財政運営の厳しさが予測されます。

熊野町行政懇談会からいただいた答申を踏まえ、今後も引き続き、第4次行政改革大綱実施計画を推進すべく、職員一人ひとりが改革意識を持ち取り組みます。